

# 性に関する指導

## 1 性に関する指導の充実

### (1) 性に関する指導の必要性

#### ア 児童生徒の人格形成と性に関する指導

- 人間の性は人格から切り離すことはできない。
- 人間の性は、男女の生き方や在り方に深くかかわっている。

人間は、自分の一生をどう生きるかを考えたり、日常の生活場面で様々なことを感じ、考え、判断し、行動し、さらには他の人と様々な人間関係を築いたりしながら生きていく。このような場合、自分が男であるか女であるかという事実や自分が性をどう受け止め、認識しているかによって判断や行動に差異や特徴が生ずる。

- ・ 人間の性を正しく理解させ、自己の性に対する認識を確かにさせる。
- ・ 人間としての生き方、家庭や社会における男女両性の在り方などについて学ばせる。

#### イ 人間尊重、男女平等の精神に基づく性に関する指導

- 性に関する指導は、人間尊重や男女平等の精神に基づくものでなければならない。
- 現状は、暴力行為、自殺、人工妊娠中絶、売買春やその類似行為のほか様々な偏見、差別問題などが生じている。
  - ・ 人間の生命や男女の生き方、エイズによる偏見・差別の払拭などを学習課題とする性に関する指導の意義や役割は一層重要である。
  - ・ 生命尊重、人格尊重、人権尊重の意味を具現化して、児童生徒の内面化を図り、それを行動、態度に結び付けることができるようとする。

#### ウ 健康に関する現代的課題と性に関する指導

##### (ア) 健康問題と性

- 妊娠、人工妊娠中絶、性感染症など（無知や認識不足）

###### [人工妊娠中絶]

(県教育庁保健体育課調べ)

- ・ 若年化

###### [性感染症]

- ・ 性器クラミジア、淋菌感染症、尖形コンジロームは、20歳～24歳の年齢層で一番多い。
- ・ 近年、減少傾向にあるが、潜在的な感染者が多いと推測される。

	性感染症		人工妊娠中絶	
	総感染者	15～19歳	総数	15～19歳
H17	1,275	174(13.6%)	4,534	456(10.1%)
H18	1,240	133(10.7%)	4,421	431( 9.7%)
H19	902	69( 7.6%)	3,964	368( 9.3%)
H20	769	84(10.9%)	4,033	382( 9.5%)
H21	677	52( 7.7%)		

- やせ願望による薬物の乱用や摂食障害（性に対する認識の問題）

- 性的ないじめや性にかかわる問題による不登校

(イ) 性の意識、性行動の実態

- 生理面の発達傾向、異性との交際、性交に対する意識と体験、避妊と人工妊娠中絶

(ウ) 性に関する問題行動

- 性交経験、出会い系サイト等を通した性被害や売買春、薬物乱用、いじめ

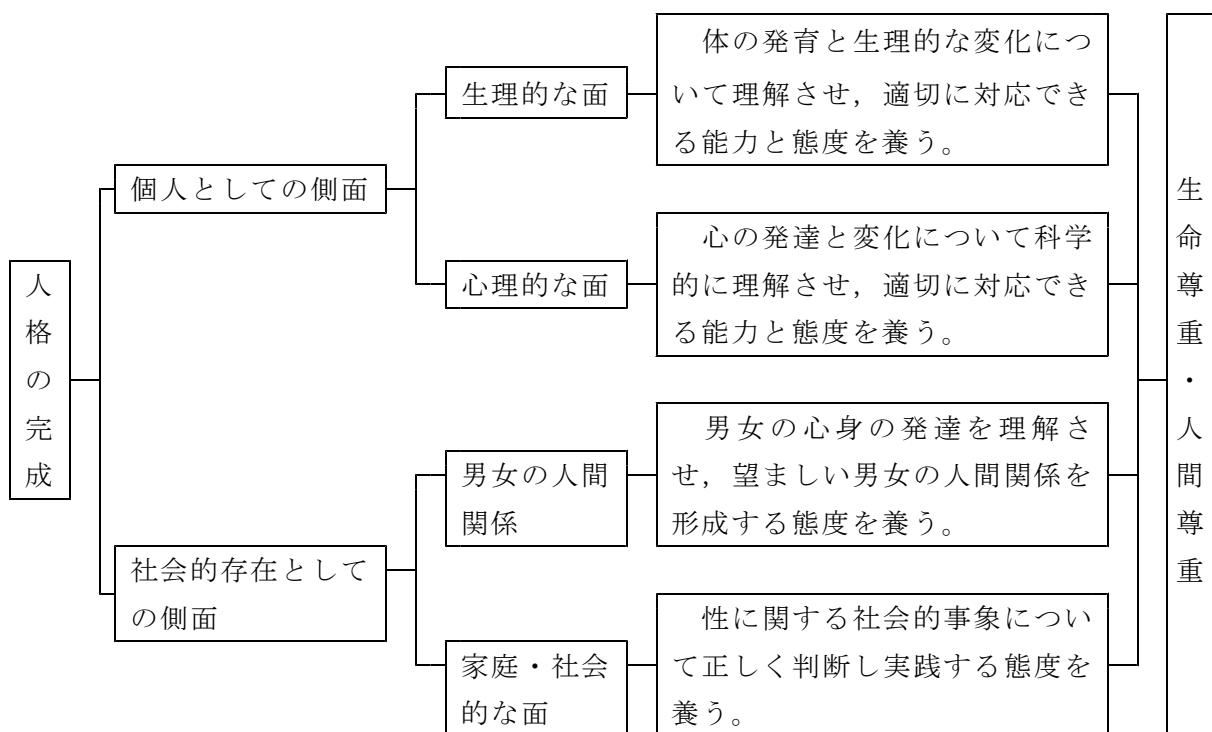
(エ) 性に関する情報環境

エ 子どもの心身の発達の特性と発達課題

- ・ 清潔感や規則正しい生活の習慣、人間尊重の精神など
- ・ 心身の発達や成長への期待→心理的安定
- ・ 二次性徴や個人差→不安や悩みの解消、性や異性への関心の高まり、男女の人間関係の基本など

(2) 性に関する指導の基本的な考え方

- ・ 生命尊重の理念を基調とした、よき男性よき女性を育てるための人間教育である。
- ・ 男女が互いにその特性と役割を認め合い、信頼と尊敬、平等と協力の人間関係を確立することを目指す。



(3) 発達段階に応じた性に関する指導の目標

全 体 小 学 年 校 年 小 高 学 校 年 中 学 校	<p>① 生命の誕生及び心身の発育・発達における男女差や個人差に関する基礎的な事項を理解するとともに、自己の性を受容し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てる。</p> <p>② 男女には体の特徴や発達段階などに違いがあるが、互いに相手の人格を尊重し合うことが大切であることを知り、相手を思いやる心情や態度を育てる。</p> <p>③ 家庭における役割は、男女の別なく分担し、互いに助け合うことが大切であることを知り、家庭や社会の一員として適切な判断や意志決定ができる能力や態度を育てる。</p>
低 学 年	<p>① 男女の体の違いに気付くとともに、自分は父親・母親から生まれ、愛情と保護によって育てられたことを知り、自分を大切にしようとする気持ちを育てる。</p> <p>② 男女の体には違いがあるが、人間として共に大切な存在であることを知り、男女の別なく仲良くしていこうとする態度を育てる。</p> <p>③ 家族は互いに助け合って生活していることに気付き、家族の一員として協力していこうとする態度を育てるとともに、性被害が起きている現状を知り、被害を防ぐ方法を身に付ける。</p>
中 学 年	<p>① 体のつくりや働きを理解するとともに、男女の体の違いや発育・発達の特徴を知り、互いに尊重し合う態度を育てる。</p> <p>② 男女が互いの違いやよさに気付き、互いに相手を尊重し、男女仲良く協力する態度を育てる。</p> <p>③ 家庭の機能について理解し、家庭における自分の役割を自覚して行動する態度を育てる。また、性情報を正しく受け止め、適切に行動しようとする態度を育てる。</p>
高 学 年	<p>① 心身の発育・発達には男女や個人によって違いがあることを知るとともに、生命の連續性や人の誕生について理解し、自他の生命を尊重する態度を育てる。</p> <p>② 異性に対する心は男女に違いがあることを知り、互いを尊重し、より良い男女の友達関係を築こうとする態度を育てる。</p> <p>③ 家庭や社会における男女の役割について考え、固定的な性的役割にとらわれず男女が協力することの大切さを知るとともに、性情報や性被害、エイズに関することなどについて認識を深め、健康で安全な生活を営む態度を育てる。</p>
中 学 校	<p>① 心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について科学的に理解するとともに、発達途上にある自己の性を受容し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる。</p> <p>② 男女の心身の特質を基に男女が互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を育てる。また、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。</p> <p>③ 男女の生き方は多様であることを理解し、家庭や社会における期待される役割や自己の将来の生き方について考えるとともに、社会における性的な事象を見つめて、家庭や社会の一員として適切な判断や意志決定、行動選択ができる能力や態度を育てる。</p>

(4) 性に関する指導の指導計画の作成上の基本的な考え方

ア 人格の完成を目指した指導計画

- ・ 指導内容を生理的側面、心理的側面、社会的側面からとらえて、バランスのとれた指導計画にする。

イ 学校の実態に即した指導計画

ウ 教職員の共通理解と共通実践

エ 教育課程への位置付けと教育活動全体を通しての指導

- ・ 各教科や特別活動等における性に関する指導事項を関連付け、教育課程の中でどのように位置付けられるかを検討し、性に関する指導の全体計画を作成して取り組む必要がある。

(5) 性に関する指導実施上の配慮事項

ア 性意識や男女の平等観などについて正しい認識をもつことが大切である。

イ 性に関する指導についてのねらいや指導内容について研修し、教師の共通理解を深める。

ウ 常に現代社会の進展や現象などに配慮しながら、指導内容などについては絶えず改善し、よりよい指導をする工夫を行う。

エ 明るい雰囲気で児童生徒に接し、信頼関係を築くことがまず必要である。

オ 内容によっては指導効果を上げるため、養護教諭などと協力していく体制をとることが必要である。

カ 人間教育という視点に立ち、日常生活全般にわたり隨時隨所での指導を行い、効果を上げる努力をする。

キ 指導のねらいを明確にし、（児童生徒に何を考えさせ、どういう行動選択を期待しているか。）内容を精選する。

ク 保護者会、学年だよりなどを通じて、性に関する指導への理解や協力について啓発する。

ケ 指導形態は、個別指導、集団指導、男女別・男女共習などが考えられるが、指導の内容や児童生徒の実態などに応じた適切な指導形態をとることが望まれる。

コ 視聴覚教材の活用や課題解決的な学習の導入など指導方法を工夫する。

サ 性に関する調査を行い、実態に即した指導ができるようにする。その際、調査の取り方や活用の仕方には適切な配慮を行う。

シ 二次性徴など、性器を扱う場合は性的関心を興味本位にとらえることなく、正しい用語を使い、科学的なものの見方を育てるようにする。

ス 生命誕生や家族にかかわる指導をする場合は、多様な家族形態があることを配慮し、個別指導を丁寧にする。

《性に関する指導指導資料》

- ・ 「大人への道しるべ」性教育指導の手引ー小学校用ー 県教育委員会（平成16年3月）
- ・ 性教育指導の手引ー中・高等学校用ー 県教育委員会（平成15年3月）